

単元名	年組番	18問
1年 地理的分野 世界の工業	氏名	

アジア州の工業について、空欄をうめましょう。

- 昔は組み立てや加工が簡単な、雑貨や衣類などを作っていた。
- 最近では、①（工業団地）をつくり、②（外国）の企業を受け入れ、工業化が進んでいる。
- ③（東南アジア諸国連合）などを結成し、アジアの国どうしでの貿易がさかんになっている。

ヨーロッパ州の工業について、正しいものを選びなさい。

- ア EUのそれぞれの国どうしで、開発や生産を競争し、各国が単独で活動している。
- イ アメリカやアジアに対抗するために、EUの中で各国が共同で開発や生産をしている。
- ウ 近年では、医薬品やコンピューター技術などの先端技術産業が成長している。
- エ 昔からの鉄鋼や自動車産業が現在も盛んで、ほかの工業は発達していない。 （イ・ウ）

アフリカ州の工業について、空欄を埋めなさい。

- ①（鉱産資源）に恵まれ、金・ダイヤモンド・銅などが採掘される。
- 独立後は、石油・天然ガスが開発される。最近では、②（レアメタル）が注目されている。
- 限られた鉱産資源の③（輸出）にたよっている国が多く、国の経済が安定しない。

北アメリカ州の工業について、空欄を埋めなさい。

- 1800年代は①（五大湖）の周りの鉄鉱石や石炭を利用した②（鉄鋼）が生産されるようになる。
- 1900年代には、鉄鋼を利用した③（自動車）工業がさかんになる。
- 1950年代からは④（西）部を中心に航空機・宇宙産業などの⑤（先端技術産業）が発達した。
- 1970年代からは南部の⑥（サンベルト）で工業が発達した。西部の⑦（シリコンバレー）は、コンピュータ関連産業の中心地となっている。

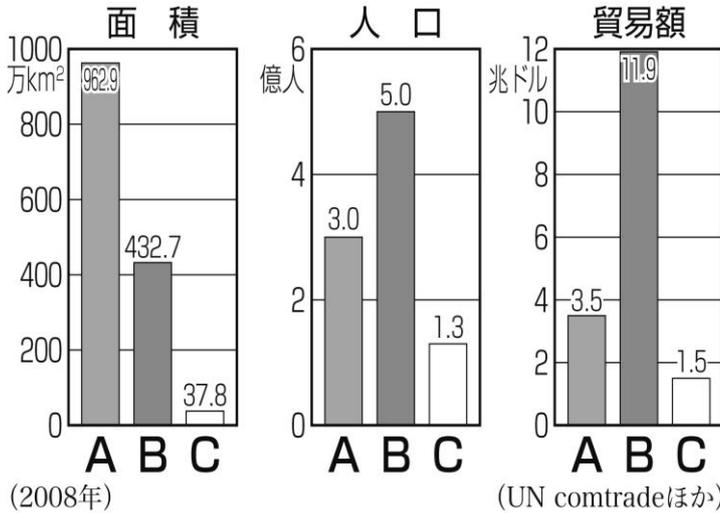
南アメリカ州の工業について、正しいものを選びなさい。

- ア 鉱産資源に恵まれず、石油、鉄鉱石、銅などを他国から輸入している。
- イ ブラジルとアルゼンチンは農業がさかんで、工業は発達していない。
- ウ ブラジルとアルゼンチンは外国企業を受け入れず、自国で重化学工業を発展させた。
- エ ブラジルは航空機やコンピュータ関連産業などの先端技術産業が発達し、急速に成長している。 （エ）

オセアニア州の工業について、空欄

- ①（鉄鉱石）や石炭、ボーキサイトなどの鉱産資源が豊富。
- 直接地面をけずる②（露天掘り）で採掘する。
- 日本にとっても、鉄鉱石や石炭、天然ガスの重要な③（輸入）相手国である。

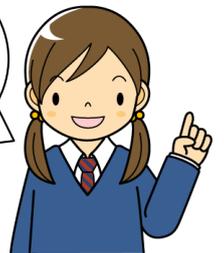
単元名	年組番	4問
1年 地理的分野 世界の工業	氏名	



1 左の棒グラフについて、考えてみましょう。

グラフ中のAはアメリカ BはEU Cは日本を示している。

グラフ中の記号にはま
ず、当てはまる言葉
書き込むとわかりやす
くなるよ!



※ EU (欧州連合)

第二次世界大戦後、ヨーロッパの国々は、戦争をさげ、アメリカ合衆国などの大国に対抗するため、たがいに協力して発展していこうと考え、1967年に6か国でヨーロッパ共同体 (EC) を組織しました。1993年にEUとなり、国のわく組みをこえた結びつきを強めています。

現在の加盟国は、28か国 (2013年)

(1) EUの面積はどのくらいですか。単位まで答えましょう。

432.7 万km²

(2) EUの人口は日本の人口の約何倍ですか。小数第1位を四捨五入して答えなさい。

式 $5.0 \div 1.3 = 3.7$ 答え 約4倍

(3) 人口密度がもっとも高いのは、アメリカ、EU、日本のうち、どこですか。



人口密度は、人口÷面積で求められるよ。単位は「〇人 毎 平方km」だよ。

日本

(4) 次の文章のうち、正しいものを探してみましょう。

- ① EUの貿易額は日本の貿易額の約8倍である。
- ② 日本は面積・人口・貿易額ともに、三つの国のなかで最も小さい。
- ③ EUの国々は、EUとしてまとまることで、面積・人口・貿易額ともに、三か国中一位になることができた。
- ④ アメリカの面積と人口は、ともにEUの3倍である。

① ・ ②